

総務省統計局との省内勉強会の開催について

- 匿名加工に係る技術的な課題や個人情報保護の観点からの留意点等を把握するために、統計データ作成に関する知見を有する総務省統計局と当室の間で勉強会を開催し、意見交換を実施。

<主な意見>

- ・ 統計データは利用目的によってエラーチェックの程度や時点の統一等の必要性が変わってくる。
- ・ 自治体の調査は全国調査に比べエリアが狭く、個人を特定できてしまうリスクが高いと考えられるため、より慎重な匿名化が必要。
- ・ 重複や項目間の矛盾点と言ったエラーチェックは自動でできても、チェック結果によっては人の目での確認が必要なエラーもある。

令和6年度補正予算事業について

【モデル事業】

- 公募期間終了。今後、審査・採択予定（令和6年度補正予算事業）。
- モデル事業を通じて、課題や留意点を把握するとともに、採択したシステムの導入から活用までの手順書を作成予定。

【統計データ作成の効率化に関する調査研究事業】

- 自治体が国に提出する統計調査の回答様式を作成する際の効率化手法や自治体のシステム上で必要となる作業（エラーチェック等）について、調査研究を実施予定（令和6年度補正予算事業）。

今後の想定スケジュール

